

【以下質疑応答】

- 意見や提案について、報告書にまとめるだけではなく、意見をいくつかピックアップして、委員で実現に向けて検討していく方向で進めていきたい。
提案の実現のために、第8期以前の会議で実現した内容や、今後実現を検討していることについて教えて欲しい。
- 第7期の会議で、「災害が起きた時の外国人市民の避難支援と、外国人市民への情報の伝え方」をテーマに意見交換を行い、令和2年度に防災ガイドマップを作成した。今期でも同様に、意見や提案について具体的に検討を行い、実施に向けて進めていきたい。
- 今期の案の中で、実現可能なものはどれか。
- 事務局内で今後検討していく予定。地域へ向けた支援、イベントについては、検討材料として挙げていく予定
- 今回までの意見交換について、内容が多岐にわたっている。具体的な案をいくつかあげ、それについて全員で意見交換を進めていきたい。
- 施策を進めていくうえで、報告書を作成してから具体的に検討していきたい。
- 世界のクイズ大会を提案したい。日本人と外国人混合のチームを作るなど、双方の交流を促しながら、一つの目標に向かって知識や経験を活かすイベントがあるといい。
また、日本語教室に通っていたが教室の過程を終えると居場所がなくなってしまう寂しく感じている人がいる、という意見が以前出たと思う。上級編として、日本語を活用したディスカッションなど、お互いに日本語で話したい、助け合いたいと思っている人同士でグループを作り、応用できる機会があるといい。
家にある自分の国の物や、自分の国の文化が分かるものについて紹介できるといい。在日外国人の家庭訪問や、オンラインや公民館を活用したミニ留学などの文化を知る機会があれば、日本人の持つ外国人への「恐れ」のようなものを無くしていく助けになるのではないか。

日本語教室のような人が集まる事業は、コロナ禍では実施は難しい。メタバースを使ったバーチャル教室を開き、日本人も含めて、さまざまな国の人同士でコミュニケーションを繋ぐようなイベントを開催するのはどうか。

国際化を目的とするなかで、外国人と日本人の相互理解が必要である。コロナ禍の影響で対面で事業を実施することは難しいかもしれないが、感染拡大が落ち着いた後のことも考えていけばいいと思う。

交流には①同じ国、地域の外国人同士の繋がり、②違う国の外国人同士の繋がり、③外国人と日本人の繋がり、と三つの段階がある。国際交流センターで行われている事業の中で、②や③が集まることが出来れば、お互いに文化を知り合う機会となる。

また、自治会や小学校区などの地域単位での動きがあるといい。国際交流センターへの行きづらさを感じている人もいる。市の地域自治システムなどを活用し、各地域に情報や支援の手を届ける必要がある。例えば、小学校区ごとに地域の外国人と行政をつなぐ窓口があれば、市や国際交流センターについての情報発信や、地域の人が抱える問題解決、地域レベルでの情報交換が可能になる。地域の公民分館を活用して、地域の外国人が集まることもできるのではないかと。

国際交流センターを中心に様々な外国人が集まり、その人たちが地域に派遣されていくというイメージ。会議で出た様々な意見を地域レベルで実現できるのではないかとと思う。

街の国際化を進めるうえで、外国人が受け入れられている雰囲気は大事である。地域に外国人がいることを認識してもらうためにも、バス停や道路標識など見えるところに多言語表記を載せることが効果的である。

外国語を学ぶ機会、認知症の予防について効果があると言われている。外国人が日本の社会のために貢献できる機会となる。

前回の会議で提案したヒューマンライブラリーについても再度提案したい。登録した外国人の時間を借りて、その人の国、地域の文化を学ぶ機会を作ることが出来る。学校ですでに、外国の文化を学ぶ機会はあると思うが、直接外国人に学ぶ機会が作れたらより良い。

市内には、学校などで英語の先生をしている外国人がたくさんいる。日本での経験を共有し、日本の英語教育をどう進めていけばいいか、学校や教育委員会に提案を出すことが出来る人たちである。

家庭交流プログラムについて、本来文化は家庭の中で伝わっていくものである。日本人、

がいにくじん かにてい はい ぶんか げんせん ふ とうろくせいど とうろく
外国人とともに、家庭に入ること文化の源泉に触れることができる。登録制度にし、登録
した人同士で交流が出来ればよい。

- かっこく お さべつ せんそう えいきょう くに みるぞく けつそく ぎやくこくさいか おそ
各国で起こっている差別や戦争が影響し、国や民族が結束し、逆国際化することを恐れて
いる。国際化の雰囲気をつくることは非常に大事だと思うが、どれだけ国際化に貢献でき
るか、どのように雰囲気を作るかを考えると、個人のレベルで何かを行うことは難し
い。少しずつ、地球の一人として国際化を進め、逆国際化をとめていきたい。
- さんていあご いいん しつもん かにてい こうりゅう ぶるぐらむ については、ほーむすてい もその
ぶるぐらむ ふく
プログラムに含まれるのか。
- がいねん いっしょ はんむすてい きかん なが すうじかん いちじてき かにてい はい こ
概念としては一緒だが、ホームステイは期間が長い。数時間で、一時的に家庭に入り込む
ことで、その人の国に行ったように感じる機会となればよい。
- さんていあご いいん いけん だんかいてき こみゆにてい けいせい りゅうがくせい
サンティアゴ委員の意見にあった、段階的なコミュニティの形成については、留学生とし
ては共感できる。
きゅうじつ にほんじん にほんじんどうし こうりゅう がっこう のこ りゅうがくせい がいにくじんどうし
休日に、日本人が日本人同士で交流し、学校に残っている留学生は外国人同士のつなが
り友達が出来る。
ほか いいん しつもん かにてい も ばあい にほんじん がいにくじん ともだち つく
他の委員へ質問したい。家庭を持っている場合、日本人と外国人のどちらの友達を作るこ
とが簡単と感じているか。
- にほんご べんきょう らいにち さいしょ にほんごきょうしつ かよ がいにくじん なかよ
日本語を勉強するために来日し、最初は日本語教室に通う外国人などと仲良くなった。
しゅうしよく あと しょうば にほんじん せつ きかい おお い きょうかい にほんじん
就職した後は職場で日本人と接する機会が多く、行っている教会も日本人のための
教会であるため、自ずと日本人と交流する機会が多くなった。今になって、より多くの
がいにくじん こうりゅう おも
外国人と交流したいと思う。
- りゅうがくせい にほん なが たいざい ひと か はや たいざいきかんちゅう じょうほう
留学生は日本に長く滞在しないため人の変わりが早い。それゆえ、滞在期間中に情報を
にゅうしゅ こくさいこうりゅうせんたー へ行ったことがある留学生は少ない。
- ひ こ じてん じゅうみんとうろくなど しやくしよ い ひつよう とき がいにくじん
引っ越してきた時点で、住民登録等のため市役所に行く必要がある。その時に、外国人
こみゆにてい しょうかい とうろく ができれば良いと思う。

- ・ 市民課で、住民登録の際に「とよなか生活ガイドブック」を渡している。照会や登録のシステムについては、今後の検討材料になる。
- ・ この会議の意見や提案の実現性について、市の考えを聞きたい。どういった外国人を担い手にしていくか、また担い手の私生活への影響も考えながら、会議の提案に関して市の意見を伺いたい。
意見に対する検討だけではなく、実現に向けて具体的に考えてほしい。
- ・ 実現性については今後検討していく。片山委員のミニ留学や、サンティアゴ委員の家庭交流プログラムについては、実現可能だと考えている。
検討の中で課題は様々あるかもしれないが、課題解決や施策の実現に向けては委員と事務局で共に考えていきたい。

あんけん 案件 3. その他

- 報告書の作成、市長報告、次回会議の日程調整について情報提供

へいかい
閉会